

# The Women's Studies Association of Japan

発行 日本女性学会  
事務局 〒020-0124  
岩手県盛岡市厨川4丁目13番8号  
E-mail jyoseigakkai-info@genj.jp  
ウェブサイト  
<https://joseigakkai-jp.org/>  
頒価 一部300円

## 学会ニュース

日本女性学会  
第157号 2023年2月

### 目次

次回大会予告……………	1	会員の著書紹介……………	3
個人研究発表・パネル報告・ ワークショップ募集について……………	1	会員の著書紹介募集……………	3
大会シンポジウム趣旨……………	2	日本女性学会2023年度 「少額研究活動支援」対象者募集……………	3
大会シンポジウム プレ研究会のお知らせ……………	2	日本女性学会事務局移転のお知らせ……………	4
		会費納入のお願い……………	4

### 次回大会予告 ※対面で開催の予定です

会場：京都市男女共同参画センター ウィングス京都

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地

■地下鉄烏丸御池駅（5番出口）または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅（20番出口）下車徒歩約5分

\*宿泊は各自で手配してください。

詳しいアクセスは、<https://www.wings-kyoto.jp/about-wings/access/> をご覧ください。

### 大会シンポジウム

#### 性犯罪、性暴力に対して日本社会はどう変わったか（仮）

大会日程（予定） 1日目 6月17日（土）13時～16時30分（予定）

大会シンポジウム、その後総会、懇親会は未定

2日目 6月18日（日）9時30分～15時（予定 昼食休憩を1時間ほど含みます）

個人研究発表、パネル報告、ワークショップ

### 個人研究発表・パネル報告・ワークショップ募集について

カテゴリー（個人研究発表、パネル報告、ワークショップ）を明示したうえで、以下の要領でご応募ください。

- ・個人研究発表：発表タイトル、発表者名（所属）、要旨（200字程度）
- ・パネル報告：パネルタイトル、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、各発表タイトル、各要旨（200字程度）、司会者名（所属）
- ・ワークショップ：テーマ、コーディネーター名（所属）、各発表者名（所属）、概要（200程度）

締め切り：3月31日（金）24時

送付先：西倉実季、三枝麻由美

\*受信トラブルを避けるため、両名にお送りください。受信の返信がない場合は、再送をお願いします。

●個人研究発表は、ひとつの分科会で、3～4人の方に発表していただきます。幹事会で発表の組み合わせと進行担当幹事を決めます。

●パネル報告は、共通するテーマの3件以上の研究発表で構成してください。公平な時間配分と十分な質疑時間の確保にご留意ください。

●ワークショップは、参加者との共同作業でテーマを発展させていく取り組みで、研究発表とは性格の異なるものです。原則として複数の発表者が分科会全体（2時間程度）を担当していただきます。

\*発表者、コーディネーター、司会は会員に限ります。応募の際にご確認ください。非会員の方は応募時にご入会ください。

## 2023 年度大会シンポジウム趣旨

### 性犯罪、性暴力に対して 日本社会はどう変わったか（仮）

シンポジスト：中山純子（国際人権 NGO「ヒューマンライツ・ナウ」・弁護士）

吉永磨美（毎日新聞くらし医療部・記者）

周藤由美子（ウィメンズカウンセリング京都）

コーディネーター：北仲千里

性暴力は、多くの場合ジェンダー支配の方法であり、圧倒的に女性・児童が被害を受けることが多いが（「ジェンダーに基づく暴力 Gender-based violence」）、ジェンダー化された性規範による偏見や「恥」のスティグマによって、これまで被害者は口をつぐみ、また告発した被害者は凄まじい二次被害にさらされてきた。そして、ジェンダー支配の行為であるがゆえに、その暴力は性的マイノリティの人々にも向けられ、性暴力被害を受けた男性たちもまた、被害を恥じ、知られることを恐れてきた。

しかし、そうした性規範も少しずつ変化し、近年、被害者による実名による告発までもがいくつか出てくるようになり、#MeToo、「フラワーデモ」などの運動が相互作用して、性暴力問題に関心を持つ人、重大な問題と捉える人が増えてきたように見える。また、トラウマ、PTSDや「エントラップメント」などの研究の進展も、その深刻さについての認識を深める役割を果たしている。そんな中、100年以上ぶりの2017年に刑法の性犯罪規定改正が実現したことに続き、現在、法制審議会において性犯罪の範囲を拡大する方向でのさらなる刑法改正が検討されており、2023年度中に法改正が現実化する可能性が高くなっている。

現行の性犯罪には、いわゆる「暴行脅迫要件」があり、「同意のない性行為」のうちごく一部しか犯罪としては

扱われないという大きな問題があるが、さらにいわゆる「挿入中心主義」や、子どもの性行為をどう捉えるか（加えて司法面接導入などの捜査や裁判上の手法・手続き上の問題、時効などの刑事訴訟手続き上の問題）、デジタル性被害という新しい被害への対処、そして対等ではない関係性の中で意に反して行われる性的行為というような論点が今回の法制審では焦点化されてきている。ただ、法が社会の構成員一人一人の認識とは無縁に進化することはありえない。性暴力の加害を問われる人、被害を受ける人、安易に性的画像を拡散する人、そしてその出来事を受け止める私たち一人一人は、いったいそれをどう捉えているのだろうか。

一方で、性暴力被害者の経験や、被害者支援の現場とずれた、警察や検察、裁判所など刑事司法担当者の認識や慣行があり、他方で、マスメディアや社会の人々の認識や実践そのものの問題がある。さらに、被害者を支援し、回復を手伝う支援センターや心理・精神科領域の専門家などの人材や体制が十分には整っておらず、ましてや加害者臨床も十分にはないという状況もある。そこで、このシンポジウムでは、刑法改正の議論を機に見えた日本社会の性暴力問題の現状を、複数の視点から考えてみたい。

#### 大会シンポジウム プレ研究会のお知らせ

#### 「性犯罪、性暴力に対して日本社会はどう変わったか（仮）」

3月11日（土）13時～ 1時間半程度  
オンライン（Zoom）

大会パネリストと、このテーマで短い報告をし合って、論点を検討します。  
大会シンポジウムの打ち合わせを兼ねた会ですが、関心のある方はご参加ください。

参加希望の方は北仲まで

## 会員の著書紹介

●北海道ジェンダー研究会編『ジェンダーで読み解く北海道社会 大地から未来を切り拓く女性たち』明石書店、2022年（妙木忍会員が第2章を執筆）

●新・フェミニズム批評の会編『新・フェミニズム批評の会 創立30周年記念論集〈パンデミック〉とフェミニズム』翰林書房、2022年

## 会員の著書紹介募集

以下のルールで会員のみなさまの著書を紹介します。掲載ご希望の方は、ニュースレター担当者までご連絡ください。

- ・会員が執筆・編集している単行本（分担執筆含む、雑誌をのぞく）
- ・1年以内の発行物
- ・ご本人の申し出があったもの
- ・寄贈は条件としない
- ・寄贈いただいたもので会員の著書と判明したもの

ニュースレター担当 西倉実季

## 日本女性学会 2023年度 「少額研究活動支援」対象者募集のお知らせ

日本女性学会では、常勤ないし正規雇用契約をもたず、研究財源の確保に困難をかかえている会員の研究活動を支援することを目的に、「少額研究活動支援」を創設しました（2011年度総会承認）。要件に該当する会員を対象に、研究活動支援金を支給します。下記の通り、2023年度の支給対象者を募集します。ささやかな活動ですが、ぜひ活用ください。

記

**内容** 対象者の日本女性学会の趣旨に沿った活動に対し、1人あたり3万円の研究活動支援金を支給する

**対象** 2023年4月1日以降に常勤ないし正規雇用契約をもたない会員10名

**応募要件**

- (1) 前年度までの会費が納入されていること
- (2) 日本女性学会会員の会費区分6,000円の者
- (3) 常勤ないし正規雇用契約下でないこと
- (4) 日本学術振興会特別研究員でないこと

ただし、本研究活動支援金の支給は一人あたり3回までとする。

**応募方法** 日本女性学会ウェブサイトにも備える応募用紙により日本女性学会事務局宛郵送

**応募締切** 2023年4月20日（木）着分まで

**詳細および応募用紙** 日本女性学会ウェブサイト「助成」のページ

<https://joseigakkai-jp.org/%e5%8a%a9%e6%88%90/>

## 日本女性学会事務局移転のお知らせ

2023年1月より、事務局が移転しましたので、お知らせいたします。

新所在地：〒020-0124 岩手県盛岡市厨川4丁目13番8号

新メールアドレス：jyoseigakkai-info@genj.jp

## 会費納入のお願い

- 2022年度の会費が未納の方は、どうぞお早めにお支払いください。会費納入のお願いと払込用紙はすでに送付しております。払込用紙をなくされた方は、郵便局備え付けの払込用紙をご利用のうえ、下記の納入先までお振込みください。

ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号 00890-6-31306

加入者名 日本女性学会

- ネットバンキングでも納入できます。

ゆうちょ銀行 支店名：089（ゼロハチキユウ） 預金種目：当座 口座番号：0031306

- 日本女性学会の会費は年収スライド制（自己申告・税込み・該当年度予定収入）をとっております。

- ・ 400万円未満（無職・学生含む）：6,000円
- ・ 400～600万円未満：8,000円
- ・ 600万円以上：10,000円

- 3年以上会費を滞納されている方は退会とみなされます（日本女性学会幹事改選選挙実施規定第4条（3））。複数年滞納されている方は、過不足なくお支払いいただくためにもご自身の納入状況を事務局にご確認のうえ、どうか早急にお支払いください。

- 学会の運営は会員のみなさんの会費によって成り立っております。重ねてのご協力をお願いいたします。

- 永年会員制度をご活用ください

2021年度から永年会員制度が開始されました。前年度までの会費を納めている65歳以上の会員は、前年度会費額の3ヵ年分の納入によって会費完納とし、永年会員とすることができます。振り込み時に「永年会費」とお書きください。

65歳以上の会員の皆さま、どうぞご活用ください。